

事業所名

スペシャルニーズ・ファースト ドリーム
(放課後等デイサービス事業所)

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

31日

法人（事業所）理念		生きていく力（自立・自主性）を育て、誰もが認め合い・支え合える共生社会を目指す。					
支援方針		子どもたちの「やってみたい」「楽しそう」「できた」の気持ちを育み、子どもたちが主体的に活動出来るような力を身に付ける。 生活スキル・社会的スキル・コミュニケーションスキルを身に付け、自立に繋げる。そして、社会との繋がりを大切にする。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・体調の管理、状態の報告、また対応を学び変化に対して対応ができるスキルの獲得。・時間管理の獲得・季節や気候に合った衣服、目的に合わせた衣服の選択ができるスキルの獲得。・一日の予定、スケジュールを本児自ら確認し、進んで行動できるスキルを身に付ける。					
	運動・感覚	・グラウンドや体育館での運動・スポーツ療育を通して身体の使い方を学習し運動への楽しさの獲得。 ・複合的な動き・サーキットトレーニング・ビジョントレーニングも実施し目と手足の協調性の獲得、空間認知の獲得、姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動を実施する。					
	認知・行動	・具体的な課題を提供し認知（思考・イメージ）を膨らませ、感情行動を抑制できるような支援を提供する。（必要に応じては、写真や絵カード等を用いる） ・数の操作・形・長い・大きい・時間・距離感等を学びます。・時間を意識し、自ら行動する力・推測する力を養っていく。・視覚刺激が少ない環境を作り、本児の状況に合わせた形で構造化された環境を設定し配慮します。・スポーツ活動による空間認知形成。・運動遊びを通してルールを守り、理解し小集団活動を楽しみ、学ぶ力を養う。					
	言語 コミュニケーション	・言葉による表出・自分でやりたいことや思いを伝えていけるように支援する。・手伝ってほしい時に援助を求めることが出来るように支援する。困っている人へ声掛けが出来ることを目指す。・本児一人ひとりに合わせ、伝え方・表現の方法をカードやSSTプログラムを通して考える力を身に付ける。・小集団の中での言葉・コミュニケーションの取り方を学習し、相手の思い気持ちから読み取れるようなやり方・考え方をSSTを用いて学習する環境を作る。					
	人間関係 社会性	・グループ活動の中で順番を守る、ルールを守るお友達と協力する。時には、負けや失敗等が合っても、受け入れ、他の子と一緒に行動できるように支援します。・色々な体験・経験を通して、成功体験を積み重ね自己肯定感を高め自信を持って行動できるように支援します。・他者の事を受け入れ人との関わり方を学びます。					
家族支援		・その日の活動の内容を連絡ノートやSNSを使いやり取りと密にします。 ・面談を行い家庭での問題点や気になることを共有し一緒に考えます。 ・保護者向け勉強会や親同士の交流の場を提供します。				移行支援	・学校や行政等関係機関と密に連携を図り、情報共有し同じ方向を向いた支援を目指します。
地域支援・地域連携		・公共施設を積極的に活用します。 ・関係機関と連携会議等を通して、情報共有します。				職員の質の向上	・2ヶ月に1回以上の内部研修を行い、障がいへの理解を深め知見を広げます。 ・スタッフミーティングを月に1回以上実施し情報を共有します。 ・職員への外部研修参加を推奨します。
主な行事等		・季節の行事（花見・夏祭り・運動会・スポーツ大会・クリスマス会等）・体験学習（職場体験・工場見学等）・クッキング・避難訓練 等					